

高いのかな

どこで
買えるの？

髪が抜けますと言われた方へ

どうやって
調べればいい？

自然かな？



ウィッグを買いたい と思ったら



ウィッグを探すヒントはこちら！

どんなウィッグ
でもOK



医療用やがん患者用と称した製品
でなくても、自分に似合って気に入れば、それでOK！
ファッション用を使いこなしている人もたくさんいます。

洋服と同じ！
特別でなくて
いい！



洋服と同じようにウィッグも選んで大丈夫。素敵なデザインを選びましょう。分け目も意外と人は見ていません。

まずは1個！
ほどほどの値段で
試してみる



何かあったら買い替えればいいや、
と思えるくらいの製品を
まずは選んで試してみましよう。

実際に調べてみよう！

1 まずはインターネットで調べてみよう

最近では、紙のパンフレットも少なくなってきました。
どこで売っているのか、どんな製品があるのか、簡単に調べられるのがネット検索です。
「ウィッグ 買い物したいエリア（例：横浜）」などと入れると近隣のお店を探しやすいです。
ネット検索が苦手な人は、手伝ってくれる人を探してみましよう。
「医療用」「がん患者用」などのワードを入れると高額品が出てきやすいです。

2 チェックするのは「髪型」と「値段」でOK

ネットでウィッグを調べると、素材や製法、耐久性など様々な情報が出てきます。
でも、医学的に使用が勧められる特別な「医療用」ウィッグはありません。
洋服を選ぶときと同じように ウィッグもデザインと値段からチェックして大丈夫。
ネットで購入される方は、「返品」できるかチェックしておくとう安心です。

3 画像検索が便利です

「性別」「髪型（ショート・ロング・ボブなど）」「年代」「ウィッグのタイプ（フルウィッグか、前髪ウィッグか、など）」を入力して好みの製品を探してみましよう。
この時、画像検索というところをチェックすると写真が出てくるのでイメージしやすいです。

4 インターネットの情報は、広告として見よう

ネットに出てくるウィッグの情報は、ほとんどが販売側から提供されたものです。
ランキングサイト、口コミやブログの情報も、個人の体験であり、全ての人に合うとは限りません。



実際に買うとき、こんなことが心配！

1 サイズはあるの？

洋服と同じで、**サイズ表記はメーカーによって違います**。フリーサイズのものも多いです。また、サイズ調整用のアジャスターが付いていて、自分で微調整できるものがほとんどなのでご安心を。オーダーメイドでなくても充分使えます。

2 同じ髪型がない！

今と全く同じ髪型を探そうとするとムズカシイ。色・長さ・髪型の範囲を広げて探すとういす。周りの人に「あれ、髪型変えたの？」と聞かれたら「うん、似合う？」と答えればOK。

案外まわりは髪型を変えた理由を気にしませんよ。

3 かぶってみたらなんか変！ → 前髪を切ってみよう

かぶってみたらなんとなくしっくりこない。そんなときは **かぶり方を見直しましょう**。曲がっていたり、かぶりが浅かったりしませんか？また、たいていのウィッグは前髪が長いので、カットして整えるとしっくりくることがあります。理美容室やウィッグを扱う店に相談してみましょう。もみあげが欲しい時は、眉用パウダーで描くとよいです。

4 暑い時期はどうしよう？

自分の毛でも、夏場は暑くて汗ばむもの。ウィッグも同じです。ただ、地毛よりも地肌に汗が流れるので不快さが増して感じることも。ウィッグと頭皮の間に汗取り用の布を挟むと **汗対策** になります。ひどく汗をかいたらウィッグを外し、デオドラントシートで頭を拭いてさっぱりさせてから、乾いた布に取り換えるとすっきりします。1日使ったウィッグの内側には、消臭スプレーをしておくのがおすすめです。

色々な方法があります！

孫に買ってもらいました。

ネット検索は苦手なので、孫に手伝ってもらいました。ちょっと若々しいけど気に入っています。

1万円以下のウィッグを購入し、2か月ごとに同じデザインのものに買い替えていました。

メンテナンスをしなくて済んだので楽でした。美容室代やヘアケア用品代を考えると年間5～6万円くらいは妥当だったかなと思います。

おしゃれウィッグのお店に行きました。

最初に予算を伝え、あとは洋服のようにデザインの好みで選びました。それで何も問題なく過ごせました。

フリマサイトで手に入れました。

安いものをいくつも買って使い回しています。似合わなかったらフリマに出して売っています。



問合せ先

